

クラウドファンディング事例 2

8つの実践プロジェクト

事例から工夫を学ぶ

目次

- ❖ 事例から工夫を学ぶ
- ❖ 8つのプロジェクト〈取り組んだ団体〉
 1. ウィッグリング・ジャパン
 2. 改革プロジェクト
 3. 九州海外協力協会
 4. ドッグセラピージャパン
 5. ハッピーライド
 6. フェアトレード試食会
 7. メイクハッピー&ピース
 8. わくわーく
- ❖ これから挑戦する方に

事例から工夫を学ぶ

● 本冊子について

福岡県とNPO法人アカツキは、JapanGivingと連携して、『ふくおか発！暮らしやすい社会をつくる8つのプロジェクトを応援しよう！』と題して、クラウドファンディングを効果的に活用するための実践的な支援を行いました。2回の連続講座を受講し、選考によって選ばれた8団体が平成27年12月10日～平成28年1月10日までの1ヶ月間、「寄付月間 -Giving December- 2015」の趣旨に賛同し、クラウドファンディングを実施しました。

本冊子では、本事業を通して、実際にクラウドファンディングに挑戦した8団体の事例を分析し、これからクラウドファンディングに挑戦する方に向けて、実施のヒントを紹介しています。

● 本冊子の読み方について

本冊子では、各プロジェクトを「基礎情報」「プロジェクト概要」「リターンの設計」「ここに注目！」の4項目で紹介しています。同分野のプロジェクトを参考にする、リターン設計のヒントを得る、「ここに注目！」の「マネしたい/気をつけたいポイント」を取り入れるなど、様々な読み方で活用ください。

● マネしたい/気をつけたいポイントについて

各プロジェクトの「ここに注目！」の「マネしたい/気をつけたいポイント」には、平成26年度に福岡県とNPO法人アカツキが協働で発行した『クラウドファンディング基礎 10のポイント+3つの注意点 なんとなく始めて失敗してしまう前に』で紹介している10のポイントの番号を記載しています。各項目について、『クラウドファンディング基礎』ではより具体的に解説していますので、ぜひ合わせてご覧ください。



クラウドファンディング基礎
10のポイント+3つの注意点
なんとなく始めて失敗してしまう前に



クラウドファンディング応用
5W2Hの極意
プロジェクトを成功に導く設計



クラウドファンディング事例
8つの成功プロジェクト
事例から工夫を学ぶ

ウィッグリング・ジャパン

病院で抗がん剤治療中の女性がん患者と現場の医療従事者にウィッグを届ける活動を伝えたい！

● 達成額：660,800円／54人（目標額：500,000円） ● URL：http://japangiving.jp/p/3486

プロジェクト概要

抗がん剤の副作用による脱毛に悩む女性の負担を軽減するウィッグのレンタル事業を広げていくために、全国のがん診療連携拠点病院と地域がん診療病院にアプローチするプロジェクトです。病院内で患者に接する医師や看護師が多忙な業務においても、手間をかけずに簡単にウィッグのレンタル事業を患者へ紹介できるよう、申込書一体型のチラシとPRツールになる卓上カレンダーを製作し、420ヶ所以上の病院に届けます。



リターンの設定

各支援メニューを真心コース・寄り添いコース・共創コースなど、目を引く名称にするとともに、支援候補者を具体的に想定して、3,000円から100,000円まで価格帯を広く設定しました。リターンには、日常的に団体の活動を意識してもらえるよう、卓上カレンダーと団体オリジナルのストラップを設定。10,000円以上の支援者には、団体スタッフから直接活動の成果報告を聞くことができる食事会の参加券を送りました。



/// ここに注目！

マネしたい 受益者の声を紹介して、プロジェクトへの期待を高める

▶ 基礎ポイント③

広報文では、これまでのウィッグレンタル数や実績を具体的な数字で表し、同時に受益者の声を具体的なストーリーを通して紹介することで、プロジェクトへの期待や信頼、共感を高めています。

マネしたい これまでの支援者から支援を呼びかける

▶ 基礎ポイント⑥

過去に一度でも寄付やチャリティイベントへの参加などの実績がある、既に団体の活動に共感・理解のある方から優先的に呼びかけることで、新しい方へ支援の輪が広がりました。

気をつけたい 支援方法を分かりやすく伝える

▶ 基礎ポイント⑦

クラウドファンディングの仕組みや支援方法の問い合わせが頻繁にありました。インターネットが苦手な支援者にも支援してもらえるように支援方法を分かりやすく説明するチラシも有効です。

改革プロジェクト

地域を守る新しい防犯パトロール。地域の安全のために走るランナーを増やすガイドをつくりたい

● 達成額：239,500円／43人（目標額：200,000円） ● URL：http://japangiving.jp/p/3476

プロジェクト概要

日本初のランニングによるパトロール「パトラン」を全国に広げるためのパトランガイドブックとWebサイトを制作するプロジェクトです。ガイドブックでは、パトランの取り組み方や女性の夜道の一人歩きの注意点などを紹介することで、現在全国16都道府県で展開されているパトランがさらに広がることともに、女性の防犯意識を高めていくことを目指しています。



リターンの設定

少額から支援ができるよう、最少額を1,500円に設定。また、5,000円以上の支援で、今回のプロジェクト限定の長袖Tシャツ、30,000円以上の支援で支援者の名前が入った特別バージョンのTシャツ及びジャンパーを設定しました。活動メンバーがデザインしたグッズにより、ブランドと仲間感を醸成し、プロジェクト終了後も、実際に支援者に使用してもらうことで団体の広報につながることを意図しました。



/// ここに注目！

マネしたい 達成率を定期的に発信する

▶ 基礎ポイント⑥

Facebookやブログなどで定期的に達成率を伝えることで、まだ支援していない方の期待感や支援意欲を高め、既に支援した方にはプロジェクトに貢献できたという満足感が得られるようにしました。

マネしたい データで活動の必要性を訴える

▶ 基礎ポイント③

広報文では、福岡における性犯罪件数や発生状況など、プロジェクトが求められる背景を数値的根拠で示すとともに、活動のきっかけとなったスタッフの実体験を紹介し、共感と納得を高めました。

気をつけたい リターンのコストを削減する

▶ 基礎ポイント④

リターンを設計する際には、製作にかかる費用と支援額の収支バランスも考えましょう。身近な人の協力を得たり、納期を長めにとったりすることでコスト削減の工夫を行うことができます。

九州海外協力協会

カンボジア農村で作られる「手仕事」を支援して、子どもたちに教育を受ける機会をつくる！

● 達成額：300,000円／54人（目標額：300,000円） ● URL：<http://japangiving.jp/p/3531>

プロジェクト概要

クラフト商品の開発・販売を通して、カンボジアの農村に暮らす人たちの現金収入を増加させ、子どもの進学率向上を目指すプロジェクトです。まずカンボジア国内でのマーケティング調査を行い、製品サンプルを10種類程度作成。サンプルをもとにニーズ調査や日本での評価会を経て販売する商品を決めます。将来的には在庫管理や販売を行う為の組合を立ち上げ、適正な価格で販売する仕組みが生まれることを目指しています。



リターンの設定

プロジェクトの受益者である、商品のサンプル製作を担うカンボジア人の家族からのお手紙をリターンに設定。また、支援者も一緒に商品を作る過程に関わることができるようにサンプル評価会への参加権を定め、プロジェクトを通して、受益者と支援者がつながるようにしています。1,000円の最少額支援メニューには月1回のレポート配信を設定し、まずは気軽に関わり、今後の関心と支援につながることを目指しています。



/// ここに注目！

マネしたい 共通点のある人から支援を依頼する

▶ 基礎ポイント⑥

団体の全スタッフが青年海外協力隊の参加経験者であることから、共通の経験や関心を持つ協力隊のOB・OGに支援を依頼しました。身近な人からその知人や友人へ、支援の輪を広げていきましょう。

マネしたい 受益者と支援者をつなげる

▶ 基礎ポイント⑧

リターンには、サンプル評価会への参加や受益者からのお礼の手紙など、受益者と支援者がつながる仕掛けを取り入れることで、プロジェクト後も支援者が関わることができる工夫をしています。

気をつけたい 早めに支援の依頼をする

▶ 基礎ポイント⑤

支援を依頼してから、実際に支援が行われるまでしばらく時間が空き、実施期間後半で焦ることになりました。可能なかぎり早めに支援を依頼し、支援を実行してもらいましょう。

ドッグセラピージャパン

犬とふれあい子どもの「笑顔」の撮影会。動物愛護と適正飼養についての理解と関心を深める

● 達成額：24,000円/5人（目標額：290,000円） ● URL：<http://japangiving.jp/p/3518>

プロジェクト概要

犬の殺処分問題を解決することを目指し、子どもが犬との正しい接し方や飼い方を知り、幼少期から命の大切さを学ぶことができる撮影会を実施するプロジェクトです。撮影した写真は、動物を飼えなくても犬とのふれあいを思い出せるよう子どもに渡すとともに、団体WebサイトやDVDなどでの発信を通して、動物愛護と適正飼養に関する理解と関心を広く啓発していきます。



リターンの設定

リターンには、活動報告とお礼メッセージ、団体Webサイトに支援者の名前を掲載することを設定しました。さらに10,000円以上の高額支援者には、携帯待ち受け写真やタペストリーカレンダーといった物と、軽食を食べながら好きな犬との写真撮影や代表との食事会などの体験をリターンとして設定し、特別感を高めながら、支援者の嗜好や関心に合わせて選択できる形にしました。



/// ここに注目！

マネしたい 支援金の使途を具体的に説明する

▶ 基礎ポイント③

会場費や人件費など、支援金の具体的な使途と金額を伝えることで、プロジェクトの透明性を高めています。支援金がどのように使われるかを知ることで、支援者が納得して支援することができます。

マネしたい 写真で共感と信頼を高める

▶ 基礎ポイント②

子どもや犬などの写真を掲載することで、多くの人の共感を集めやすくしました。また、メディアへの掲載や活動現場の写真は、活動の実績や信頼度を高め訴求する効果があります。

気をつけたい 実施のために必要な時間や人員の配分を考える

▶ 基礎ポイント⑤

プロジェクトの実施に十分な時間をかけられず達成できませんでした。他事業の繁忙期や人員体制を考慮した実施時期の決定と、計画を実現していくための業務調整を行いましょう。

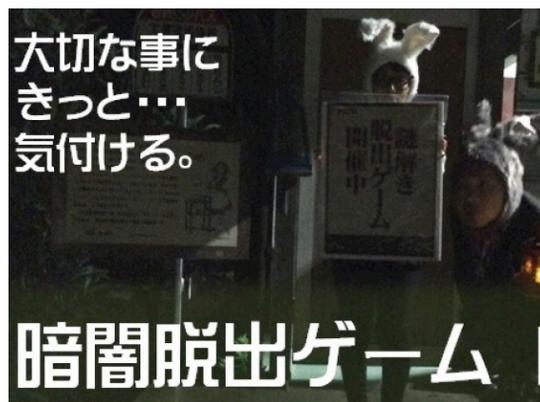
ハッピーライド

【暗闇脱出ゲーム迷宮】障がいに興味がない人をターゲットにした視覚障がい体験を開催したい！！

● 達成額：327,000円/42人（目標額：320,000円） ● URL：<http://japangiving.jp/p/3490>

プロジェクト概要

福祉や障がいに興味がなくとも、気負わず視覚障がい者が生きる世界を体験し、気が付けば自分ごととして理解を深められる「暗闇脱出イベント」を開催するプロジェクトです。これまでに試行錯誤して作り上げてきた暗闇脱出イベントを通して、障がい者と健常者の壁をなくし、ひいては地域コミュニティの中で多様な人と関わって生きる大切さを伝えることを目的にしています。



リターンの設定

支援メニューは3つに絞り、リターンを「活動進捗と報告メール」「デバッグ公演（本番を想定したテスト公演）の招待券」「本公演の招待券」の組み合わせとしました。リターンの種類を絞り、制作コストを削減することで、プロジェクトの実施に資金を割けるようにしました。また、イベントの参加券そのものをリターンとすることで、支援者が出したお金で実現できたものを実際に見てもらえるように設計しました。



/// ここに注目！

マネしたい 支援候補者に直接会って、個別に説明する

▶ 基礎ポイント⑦

支援の依頼は、ネット上だけではなく、一人でも多くの支援候補者に対面で説明する機会を設けました。団体の企画であっても、まずは個人と個人の信頼関係から始める必要があります。

マネしたい 既存のツールを活用する

▶ 基礎ポイント⑥

Facebookでイベントページを作成し、支援候補者を招待しました。手軽に進捗状況や達成率などが報告でき、さらに支援者同士の顔が見えることで、周囲の人へ支援が波及しました。

気をつけたい 現金での支援に対応できるようにする

▶ 基礎ポイント⑦

年齢層が高い支援者のなかには、「インターネットでの手続きが苦手」「クレジット決済には抵抗がある」という声もありました。現金での受け取りや領収書の携行などの工夫が必要です。

フェアトレード試食会

本当のオシャレってなんだっけ？福岡県内4ヶ所で映画「ザ・トゥルー・コスト」を上映したい！

● 達成額：217,500円/68人（目標額：200,000円） ● URL：<http://japangiving.jp/p/3482>

プロジェクト概要

ファストファッションの背景にある劣悪な労働環境を取り上げた映画『ザ・トゥルー・コスト』を福岡県内4ヶ所で上映する資金と仲間を集めるためのプロジェクトです。「背景を知り、選択する購入者を増やす」ことをミッションに、各地のフェアトレードショップなどと協力して、労働者や職場環境、地球に優しいファッションや商品について考える機会を提供し、作る人と買う人がお互いに幸せになる社会の実現を目指します。



リターンの設定

上映会の招待チケットを基本として、ペアチケットやフェアトレードチョコレートの詰め合わせなど多彩なリターンを用意しました。また、支援が「作る人と買う人の幸せをつくるアクション」になることを目指し、フェアトレードを取り扱うショップの一覧表や、団体スタッフがガイドするフェアトレード・ショップを巡るツアーの参加券なども設け、支援者の日常の購買行動に変化が生まれる仕掛けを作りました。



/// ここに注目！

マネしたい リアルタイムでお礼をする

▶ 基礎ポイント⑥

支援者の応援コメントには原則1日以内にお礼の返信をし、支援者の想いに応えています。また、新聞掲載や上映会準備状況などの進捗を3日に1回程度、定期的に報告し、支援者の期待を高めました。

マネしたい プロジェクト説明会を開催する

▶ 基礎ポイント⑦

事業説明会を実施し、団体スタッフから企画の想いや背景も含めて丁寧に説明し、支援を依頼することで、金銭支援に留まらず、団体の活動をサポートしてくれる仲間と出会う機会になりました。

気をつけたい どのくらい時間を割くか決める

▶ 基礎ポイント④

丁寧にプロジェクトを実施すればするほど、労力も時間も必要となりました。コストの視点を忘れずに、企画や広報、リターンの準備にどのくらい時間を割くかあらかじめ決めておく必要があります。

メイクハッピー&ピース

誰もがかがやける場に！障がいや不登校などの子どもたちも安心して学べる学習サポートの環境を！

● 達成額：204,500円／39人（目標額：200,000円） ● URL：http://japangiving.jp/p/3534

プロジェクト概要

主に発達障がいや行き渋り、不登校の子どもたちをこころ（メンタル面）と学習面で支援するために行う学習サポート事業に必要な机や椅子などの学習ルームの設備や学習テキストを購入するためのプロジェクトです。学習ルームの設備の購入により、現在の15名から倍の30名の子どもたちのサポートが可能になり、テキストの購入により、子どもたち一人ひとりの成長や学習スピードにあったサポートが実現します。



リターンの設定

サンクスメール、Webサイトへの名前掲載、団体の季刊誌を基本的なリターンとして設定。5,000円以上の支援者にはサポーター証を設けることで、特別感を生み出しています。また、30,000円の支援では、学習サポートの見学チケットや、代表やスタッフとのお食事会へ招待のリターンを設け、関心の高い支援者に対して、さらに事業の理解を深め、継続して支援や協力してもらう工夫をしました。



/// ここに注目！

マネしたい 団体スタッフの顔を見せる

▶ 基礎ポイント③

広報文には、学習サポート事業を行う大学生スタッフの集合写真や活動中の写真を多く掲載し、顔が見えることを通して、団体とプロジェクトに対する安心感や信頼感を高めました。

マネしたい プロジェクトの価値を代弁してもらう

▶ 基礎ポイント③

大学生スタッフの活動への想いや、学習サポートに通う子どもからのメッセージなどを紹介し、プロジェクトの価値や成果を代弁してもらうことで、支援候補者の共感と納得感を高めました。

気をつけたい 受益者のための資金募集と考える

▶ 基礎ポイント⑨

代表の人脈や友人への直接的な支援依頼を実践期間の最後1週間で行いました。支援を依頼することには心理的な抵抗がありますが、受益者のための資金募集と考えて、積極的に声掛けしましょう。

わくわーく

寄付おいしい輪☆ぷるじょくと～障害者施設のお菓子が地域デビュー！

● 達成額：204,900円／36人（目標額：200,000円） ● URL：http://japangiving.jp/p/3484

プロジェクト概要

障がい者施設のお菓子BOXを地元企業や団体の事務所に届ける「おいしい輪☆ぷるじょくと」を広げ、設置場所を新たに50ヶ所増やすという目標の達成に向けて、必要なオリジナルBOXと、ポップやメニューカードなどの広報ツールを製作するためのプロジェクトです。お菓子BOXの設置場所が増え、各BOXの売上が向上することで、障がい者施設でお菓子作りに携わっている方により多く還元できることを目指しています。



リターンの設定

リターンには、お礼メールとWebサイトでの支援者の名前の掲載に加え、団体が運営する障がい者福祉サービス事業所BOCCHIで作る自主商品のお菓子や雑貨を設定しました。今回のプロジェクトだけの単発支援に終わってしまうのではなく、まずは実際の商品を食べてもらうことで、その美味しさや魅力を実感してもらい、プロジェクト終了後の継続的な購入やBOXの設置協力などを促していく工夫をしています。



/// ここに注目！

マネしたい 明確な数値目標を設定する

▶ 基礎ポイント③

プロジェクトの目標を「月1,000円のお菓子BOXを50ヶ所に設置して、月50,000円の売上向上を目指す」と明確な数値で示すことで、支援がどのような成果につながるか明示しています。

マネしたい 支援者ひとりひとりに向けたお礼の返事を書く

▶ 基礎ポイント⑥

支援者からの応援コメントにはお礼の返事を1日以内に書くだけでなく、ひとりひとりにあてた丁寧な返事を行うことで、感謝の想いが伝わり、支援者との関係性を深めていくことができます。

気をつけたい 事前に団体内で情報共有を行う

▶ 基礎ポイント⑤

代表者や担当者だけでプロジェクトを実施するのではなく、団体内部において、事前にプロジェクトの意義や目標などを共有し、ともに達成を目指すことで、支援の広がりにつながります。

これから挑戦する方に

これまで紹介した8つの実践プロジェクトはいかがだったでしょうか？平成26年度から16団体の事例を紹介してきましたが、目標金額を無事に達成し、プロジェクト終了後も継続的な支援につながっている団体には3つの共通点があるように思います。

1つ目は、プロジェクトの価値や意義を団体内部でしっかりと共有できていること。プロジェクトに携わるメンバー内でプロジェクトの価値や意義を共有することはもちろん、支援者の立場に立って、どのような言葉や写真であれば伝わるかを考え、納得と共感を得るメッセージをつくる必要があります。

2つ目に、受益者と支援者をつなぐしかけをしていること。支援者を「プロジェクトと一緒に作る仲間」として捉え、受益者からのメッセージや参加型のリターンなどを通して、プロジェクトに楽しく関わることができる設計を行うことで、プロジェクト終了後の継続的な支援や協力、広がりにもつながります。

最後に、当たり前ですが、支援をお願いすること。Webサイトやメール、SNSでの協力依頼だけではなく、個別説明や事業説明会などを開催し、ネットとリアルの両面から支援をお願いしていくことが大切です。そして、実際に支援を受け取った後には、誠意を持って素早く、相手に合わせたお礼メッセージを送りましょう。

これら3つの共通点を見ると、クラウドファンディングが社会課題を知ってもらうことや同じ未来を共有することによる、「共感集め」や「仲間集め」であることが分かります。

クラウドファンディングは「どこからともなくお金が集まってくる魔法のツール」では決してありません。例えば、面識のない方に向かって、いきなり支援をお願いできるでしょうか。そして、その方は支援に応じてくれるでしょうか。クラウドファンディングは、これまで培ってきた関係と信頼を可視化するものです。これまでの支援者とどのような関係を積み上げてきたか、またこれからどのような関係をつくっていきたいかを、しっかり考えることが重要です。

皆さんがこれからクラウドファンディングを実施するときは、支援者の方々を単なる資金拠出者ではなく、ともにプロジェクトをつくりあげる大切な仲間だという意識を持ち取り組んでください。そうすることで、必ず目標の達成やさらなる活動の発展につながるはずです。

最後まで読んで頂きありがとうございました。皆さんの挑戦と成功を心より願っております。

